



盛夏の候 大船渡労働基準監督署 署長 唐崎 勝

今年もはや半分が過ぎましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。天候のほうもうす寒かったり急に暑くなったりと体調を崩さないようにしなければと思っていますところ。皆様ご存じのとおり、毎年7月1日から7日までは全国安全週間です。安全に対する意識の高揚を図ることが取り組みのひとつとしてあげられています。

県内の労働災害の発生状況は、昨年1年間の発生件数が1530件と前年より大幅に増加しており、また今年に入っても前年同期比で増加している状況となっています。この中では転倒災害が最も多く、冬季特有の路面凍結などに起因するものもありましたが季節的要因によらない転倒災害防止対策を推進していく必要があると強く思っています。しかしながら従来型の災害もあいかわらず発生している状況にあります。同種災害が繰り返されているということは過去の教訓が生かされていないことにはほかならないのではないのでしょうか。安全週間を契機として自社の安全対策を見直してみて、災害が発生する前に危険の芽を摘み取るという意識を強く持っていただきたいと思います。

また、これからの季節は熱中症にも警戒が必要ですので、熱中症対策にも万全を期していただくようお願い申し上げます。ご安全に。

◆ 今月は **全国安全週間** です

期間 : 7月1日(金)～7日(木)
スローガン : **安全は 急がず焦らず怠らず**



今年も全国安全週間の時期となりました！

この全国安全週間は、労働災害を防止するために「産業界での自主的な活動の推進、職場での安全に対する意識の高揚、安全活動の定着を図ること」を目的としています。

本週間は7月1日～7日です。

実施主体は皆様方の各職場です。各職場で活発な取り組みを計画し活動されることを期待しております。

なお、活動例として次のようなものがありますが、実施に当たっては、マスクの着用、手指消毒、いわゆる「3つの密」を避けるようにする等、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染防止対策を徹底することにも気を付けてください。

- ① 安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意志の統一及び安全意識の高揚
- ② 安全パトロールによる職場の総点検の実施
- ③ 安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等の他、ホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信
- ④ 労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施による家族の協力の呼びかけ
- ⑤ 緊急時の措置に係る必要な訓練の実施
- ⑥ 「安全の日」の設定のほか全国安全週間及び準備期間にふさわしい行事の実施

令和4年度
申告と納付はお早めに
労働保険の年度更新
(労災保険・雇用保険)
6/1(水)～7/11(月)

●年度更新申告書は5月末頃に送付する予定です。●口座振替による納付が便利です。
●電子申請は納付を問わず、いつでも申請が可能です。是非ご利用ください。
厚生労働省年度更新お知らせページ 年度更新 お知らせ | 厚労省

労働保険の年度更新は**7月11日**が期限になっています。

期限終了間近になりますと、混雑が予想されますので、お早めに手続きをお願いいたします。

中小企業の事業主の皆さまへ

2023年4月1日から

月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます

◆改正のポイント
中小企業の月60時間超の時間外労働に対する割増賃金率が50%になります

来年の4月1日から中小企業も時間外労働月60時間超に対して**5割以上**の割増率で割増賃金を支給しなければなりません。

早い時期から過重労働の見直し等対策を行うようお願いいたします。

◆「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」が展開中です

STOP!熱中症
クールワークキャンペーン
— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —
令和4年5月～9月

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約500人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

4月 5月 6月 7月 8月 9月
準備期間 5/1 キャンペーン期間 重点取組期間 9/30

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょ。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょ。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょ。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょ。
- 休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょ。



キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1 **WBGT値の把握**
JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょ。

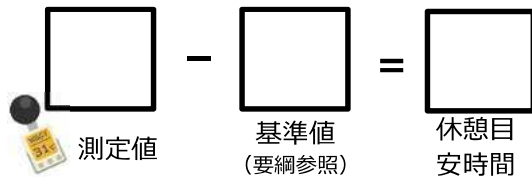
STEP 2 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょ。

WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょ。休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょ。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょ。
通気性の良い服装等	
作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょ。
暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょ 。特に、 入職直後や夏季休暇明けの方は注意が必要 です!
水分・塩分の摂取	のどが潤いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょ。
ブレイキング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょ。
健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をさいて人員配置を行いましょ。
日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょ。また、当日は朝食をしっかり取るようにしましょ。熱中症の具体的な症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょ。
作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょ。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょ。

STEP 3 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょ。

WBGT値の 低減対策 は実施されているか	異常時の措置 ～少しでも異常を感じたら～ ・いったん作業を離れ、休憩する ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない
WBGT値に応じた 作業計画 となっているか	
各作業者の 体調 や 暑熱順化 の状況に問題はないか	
各作業者は 水分 や 塩分 をきちんと取っているか	
作業の 中止 や 中断 をさせなくてよいか	

◆ 休憩時間目安について



休憩時間の目安として、キャンペーン実施要綱の中では次のように示されていますのでご参考にご覧ください。

- 熱順化した作業員において、WBGT**基準値**から
- 1℃程度超過しているときには1時間あたり15分以上休憩
 - 2℃程度超過しているときには1時間あたり30分以上休憩
 - 3℃程度超過しているときには1時間あたり45分以上休憩
 - それ以上超過しているときには作業中止が望ましい。
- 熱順化していない作業員においては、上記よりもより長い時間の休憩等が望ましい。

注) WBGT基準値は実施要綱をご確認ください。

差が大きい場合には、服装や設備対策（簡易な屋根の設置など）で、超過幅の縮小を考えましょ。

◆ 労働災害発生状況 ※この統計は休業4日以上のもになります

◆ 令和4年5月末現在速報値（大船渡労基管内）

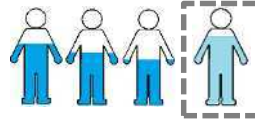
【業種】別	4年		前年同期比	
	人数	発生率	人数	発生率
製造業	31人	0.01%	+27人	0.01%
建設業	4人	0.01%	-5人	0.01%
運輸交通業	4人	0.01%	+3人	0.01%
林業	2人	0.01%	-1人	0.01%
畜産水産業	0人	0.00%	-2人	0.01%
商業	4人	0.01%	+1人	0.01%
通信業	0人	0.00%	0人	0.00%
保健衛生業	2人	0.01%	-2人	0.01%
接客娯楽業	1人	0.01%	+1人	0.01%
その他業種	0人	0.00%	-3人	0.01%
合計	48人	0.01%	+19人	0.01%

◆ 脱水とは、カラダから水と電解質（塩分など）を失うこと



◆ 食事も大事 今年の当地域での全国安全週間準備研修会では株式会社大塚製薬工場様からの講演もありました。飲料水の摂取はもちろんのこと、「食事も大事」というお話をいただきました。

◆ 質の良い水分摂取を よく、ミネラルウォーター、お茶、コーヒーを補給する人が多くみられますが、これらには塩分・カリウムがあまり含まれていませんので注意が必要です。（塩飴や塩と一緒に補給すれば効果が見込めるでしょう。）



← 水分だけを摂取すると、水分量は増えますが、濃度が薄いカラダになり、危険です。

◆ 摂取方法（頻度・量など）

- ①「0.1～0.2%の食塩水」または「ナトリウム40～80mg/100mlのスポーツドリンク・経口補水液」などを、
- ②20～30分ごとに、
- ③カップ1～2杯程度



この用量で補給することが望ましいようです（研修会での医師説明より）。喉が渇いてからではなく、こまめに補給して蓄え続けるというイメージが大切です。ご参考にご覧ください。

◆ 暑熱順化について 「暑熱順化」とは暑さにカラダを慣れさせるという意味です。

熱中症はカラダが暑さにまだ慣れていない暑くなり始めに最も多くの方が発症しています。暑くなり始めは、普段どおりに連続作業をするのではなく、休憩しながら一連続作業を少しずつ長くするようにしてみましょ。

最近の労働災害事例

<災害事例>【建設業】河川締切用の鋼矢板打設準備として、継矢板に添接板を溶接する作業を、6枚重ねの上から順に行っていた。上から5枚目の溶接作業を1～4枚目を吊り上げた状態で行っていたところ、4枚目の添接板の溶接が破断し、吊り上げていた矢板が落下し、手を挟まれた。（指骨折）